

## 1. 製品及び会社情報

製品名	湿度インジケータカード PHI6V/10-60Br
製品コード	2-2620-01
会社名	アズワン株式会社
住所	〒550-8527 大阪市西区江戸堀 2-1-27
担当部門	品質保証部エビデンス管理グループ
電話番号	06-6447-8614pH 試験紙 3.5-6.8
FAX番号	06-6447-8664

## 2. 危険有害性の要約 (含有の臭化コバルトとして)

GHS 分類	
物質又は混合物の分類	
急性毒性(経口)	区分 4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激	区分 2B
刺激性	
呼吸器感作性	区分 1
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 2
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1 呼吸器系, 神経系, 血液
水生環境有害性(急性)	区分 1, 肺, 甲状腺, 神経系
水生環境有害性(慢性)	区分 2 血液, 心筋, 生殖器
絵表示	区分 1

注意喚起語 危険  
危険有害性情報



- H320 - 眼刺激
- H302 - 飲み込むと 有害
- H334 - 吸入すると アレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
- H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い
- H351 - 発がんのおそれの疑い
- H361 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H400 - 水生生物に非常に強い毒性
- H410 - 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
- H370 - 臓器の障害: 呼吸器系, 神経系, 血液
- H372 - 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害: 肺, 甲状腺, 神経系
- H373 - 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ: 血液, 心筋, 生殖器

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分

混合物

ベース / セルロース パルプ

試薬 /

臭化コバルト 0.94%、CAS:7789-43-7 化審法公示番号(1)-103 安衛法(公表)

塩化カルシウム 0.86%

染料

ブラックインク

### 4. 応急措置

曝露した場合

曝露した場合、医師に連絡する。

目に入った場合

目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して  
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合

目の刺激が続く場合、医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗浄する。

皮膚に炎症や発疹が起きた場合、医師の治療を受ける。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

吸入し、呼吸が困難 吸入し、呼吸が困難な場合、患者を新鮮な空気のある場所に避難  
させ、呼吸が楽な姿勢で休息をさせること。

飲み込んだ場合

呼吸器系の症状がある場合、毒劇物センターもしくは医師に連絡をする。

飲み込んだ後に気分が悪い場合、毒劇物センターもしくは医師に連絡する。

口をすすぐこと。漏出物を集めること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤

泡消火剤、二酸化炭素、ドライケミカル、乾燥砂

消火方法

消火活動時は、適切な保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

屋内の場合、十分に換気を行う。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者  
以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付  
着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され環境への影響を起こさないように注意する。汚染さ  
れた排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化

飛散したものを掃き集め、密閉できる空容器に回収する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

本製品は、一般的な材料特性に適合した取り扱いを行う。

取扱い上の注意事項

製品を分解し、臭化コバルトを開放状態にしない。

酸類との直接接触を避ける。

保管上の注意事項

火気、直射日光、水漏れ、高温多湿環境を避けて保管する。

段ボール箱での保管は、荷崩れに注意する。

### 8. ばく露防止及び保護措置

ばく露防止

製品を用いた作業においてガス、粉塵などが発生するときは、局所排気装置などを使用し、適切な換気を行う。

保護措置

必要に応じて、マスク、手袋、保護メガネなどを着用する。

**曝露限界**

臭化コバルト(II)7789-43-7

日本産業衛生学会許容濃度 TWA: 0.05 mg/m<sup>3</sup> OELISHL/ACL: 0.02 mg/m<sup>3</sup>  
管理濃度 作業環境評価基準 ISHL/ACL: 0.02 mg/m<sup>3</sup>  
米国産業衛生専門家会議 TWA: 0.02 mg/m<sup>3</sup> Co inhalable particulate matter (ACGIH)

**9. 物理的及び化学的性質安全性**

色	白(ベース) 試薬(青~ピンク)
引火点	データなし。
発火点	データなし。
融点	データなし。
自己反応性	なし。
溶解度	構成試薬は水に溶ける

**10. 安定性及び反応性**

安定性	常温では安定。
反応性	構成試薬は水に溶ける
可燃性	あり。

**11. 有害性情報(臭化コバルトとして)**

急性毒性	経口 LD50 406 mg/kg(Rat) 経皮 LD50 N/A 吸入 LC50 N/A
発がん性	IARC Group 2B NTP Reasonably Anticipated 米国産業衛生専門家会議(ACGIH) A3 日本産業衛生学会許容濃度 Group 2B
特定標的臓器毒性(単回)	NITE の GHS 分類に基づく。
特定標的臓器毒性(反復)	NITE の GHS 分類に基づく。
その他の毒性,有害性	データなし

**12. 環境影響情報**

生体毒性	データなし
その他のデータ	データなし

**13. 廃棄上の注意**

「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に従って行う。  
地方自治体の規制がある場合は、それに従う。

**14. 輸送上の注意**

輸送規制(UN3077 A158 により除外)なし。水漏れ、及び荷崩れ防止の措置を行う。  
包装を傷つけたり、破損させるような乱暴な取り扱い禁止。

#### 15. 適用法令

PRTR法 化管法	第1 種指定化学物質(法第2 条第2 項、施行令第1 条別表第1 ) 第1 種-管理番号. 132
労安法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条)特定化学物質第2類物質 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)作業環境評価基準(法第65条 の2第1項)
毒物劇物取締法	非該当
輸送規制	非該当
大気汚染防止法	有害大気汚染物質

#### 14. その他の情報

本製品は規制される物質の含有がなくSDS発行の対象外となります。本データは参考としてご使用ください。  
本データは現時点で入手可能な資料や情報に基づき、通常取り扱いを対象に作成しており、記載のデータや評価は  
情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。

##### 参考文献

NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html> IATA 危険物規則書  
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 中央労働災害防止協会 GHS モデル SDS 情報  
有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイ エンティ フィ ッ ク化学大辞典 共立出版 等